

警察庁報告資料

令和元年 9 月 19 日

生活安全局生活経済対策管理官

平成30年中における食品の産地等偽装表示事犯の検挙状況について

1 食品の産地等偽装表示事犯の検挙状況

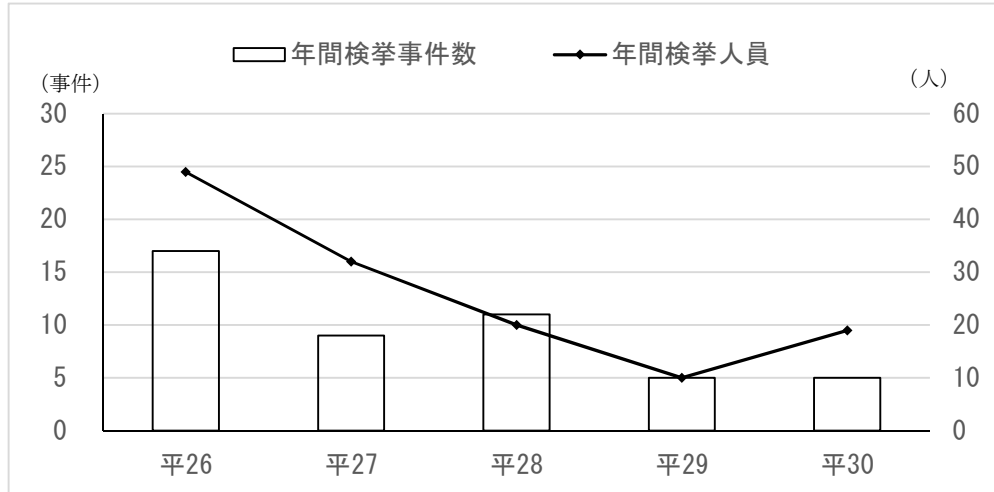
平成30年中における食品の産地等偽装表示事犯の検挙事件数は5事件、検挙人員は19人、検挙法人は5法人であった。

内訳は、不正競争防止法違反が5事件であった。

2 主な検挙事例

- 水産物輸入販売会社役員らが、外国産アサリについて、納品書に「熊本県あさり」と商品の原産地を誤認させるような表示をするとともに、取引先12社に対しアサリを譲渡した不正競争防止法違反で、3法人9人を検挙した（熊本）。
- 生姜加工販売会社役員らが、外国産生姜を「高知県産」と表示し、商品の原産地を誤認させるような表示をするとともに、取引先7か所に発送し販売した不正競争防止法違反で、1法人5人を検挙した（高知）。

【参考】食品の産地等偽装表示の検挙状況の推移（過去5年）



	平 26	平 27	平 28	平 29	平 30
検挙事件数	17	9	11	5	5
検挙人員	49	32	20	10	19
検挙法人数	14	7	6	3	5